

2023年2月3日

京都先端科学大学
MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
三井住友海上火災保険株式会社

～イノベーション創出に向けて企業のリカレント教育を支援～
大学と提携したリカレント教育プログラムの販売を開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）と京都先端科学大学（学長：前田 正史）は、MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社（社長：原 典之）と共同で開発したデジタルやEV（電気自動車）分野のリカレント教育プログラム「MS&ADデジタルカレッジ from 京都^{※1}」を、2023年4月から企業・団体・地方自治体向けに紹介・販売します。

京都先端科学大学とMS&ADインシュアランスグループは、本教育プログラムの提供を通じて、デジタルやEV等の成長分野における新たなビジネスモデルを企画・立案・推進する、専門性の高い人材の育成を支援していきます。

※1：2020年7月7日ニュースリリース：[新たなビジネスモデルを創造する人財を育成するオンライン型研修プログラム「MS&ADデジタルカレッジ from 京都」を開設](#)

1. 課題・背景

Society 5.0の到来、カーボンニュートラルの実現に向けた産業構造の変革等、社会が大きく変化する中、革新的なアイデア等を生み出す人材への投資が注目されており、リカレント教育の重要性が一層高まっています。

一方、中小企業を中心に、リカレント教育の進め方がわからないといった声があがっているほか、その推進には、企業による積極的な推奨・支援とともに、大学等の質の高い教育を社会人にとって活用しやすい形で提供することが求められています^{※2}。

こうした状況を踏まえ、三井住友海上と京都先端科学大学は、グループ社員向けに展開している本教育プログラムを社外向けにも紹介・販売することとしました。

※2：産学イノベーション人材循環育成研究会

<https://www.meti.go.jp/policy/innovation/corp/sangakuinnovationjinzaijunkanikuseikenkyuukai.html>

2. 取組の概要

(1) 内容

三井住友海上は、DX人材育成コンテンツとして本教育プログラムを取引先企業などに紹介します。京都先端科学大学は、企業のニーズに応じたカリキュラムを組成し、販売します。異業種交流によるオープンイノベーションの創出を目的として、他の企業と同時に受講することもできます。

<主なカリキュラム>

コース名	カリキュラム名	概要
デジタル	データの活用【講義】	解析したデータの活用方法や考え方について具体例を交えて学習する。
	ウェアラブル端末【実習】	事前にウェアラブル端末を配布、装着して取得したデータを分析し、端末の特徴や課題、データ関連性を体験する。
	サイバーリスク【講義】	サイバー攻撃等のリスクを学習し、課題や対策について講師と議論する。
EV	モビリティイノベーション【講義】	政府の方向性や実証例、課題を学び、講師と議論する。
	電気自動車概要【講義】	電気自動車の構造やモーター、バッテリー等の仕組みを学習する。
	ビジネスアイデア【グループワーク】	受講者同士でEVの新たなビジネスアイデアを創造。講義内で発表し、ビジネス企画、立案を体験する。

(2) 狙いと役割

会社名／学校名	概要
三井住友海上	社会の課題解決、CSVの実現を目指し、デジタル・EV分野の教育プログラムを開発し、企業へ紹介。企業間の異業種交流も促し、参加企業のオープンイノベーションにつなげる。
京都先端科学大学	最先端のデジタル・EVの知見や技術、施設を活用したカリキュラムを制作し、販売する。
MS&ADホールディングス	教育プログラムの開発に加え、グループ各社が有する取引先企業への紹介を検討する。

以上